

設置率 100%になった秋田県における変化・効果

～平坦でない道のり、見えてきた市民公益の力と転換点～

1. 100%設置への道のり ～クラブができてにくい地域で、どのように設立していったか

A市は、観光、漁業、企業を基盤とした3町が合併したところです。平成17年度から秋田県スポーツ主事派遣制度によるスポーツ主事が配置され、総合型クラブ設立に向けて取り組んできました。

啓発フォーラムの開催や育成推進フォーラムへの参加、先進クラブ視察、住民スポーツニーズ調査等の取り組みを行ったのですが、平成20年度の日本体育協会総合型クラブ育成支援事業(以下、日体協育成支援事業)への申請はできませんでした。

その要因は、合併後の地域連帯感の醸成不足や、教育委員会に事務局を置いている体育指導委員会、体育協会、スポーツ少年団等の各団体との連携不足と、総合型クラブを理解する人材を見つけられなかったことがあげられます。

教育委員会には、市民である個人や団体が総合型クラブを立ち上げる際の全面的な支援を依頼し、地域のために活動しているスポーツ関係者を訪問して説明を行いました。

自分の地域に思いを持ち、総合型クラブにも理解を示す人材を見つけ出すことは容易ではありませんが、「市町村合併」が自分の住んでいる地域を見つめ直す機会にもなり、地域に対する思いを強くしているスポーツ関係者に協力を依頼することができました。

総合型クラブは市民の活動であることから、教育委員会主導で3回の検討会と、スポーツ関連団体関係者を対象に総合型クラブ設立に向けての説明会を開催して理解を図りました。検討会での取りまとめは十分ではなかったのですが、教育委員会の支援により、今日、設立に至っています。

2. 総合型クラブができた地域で起こった実際の変化・効果

【総合型クラブが指定管理者】

大仙市は、市町村合併に伴う行政機構は一体化したものの地域の連帯感や相互扶助機能や、郊外商業地域の発展等による市街地中心部空洞化など、様々な対応が求められているところです。

大仙市にある「大曲スポーツクラブ」は、行政主導で日体協育成支援事業を受けて立ち上げ、設立と同時に住民主体のクラブに移行しています。

平成19年、住民主体のクラブ運営が認められ、秋田県で初めてとなる総合型クラブの指定管理者に認定されました。市ではスポーツ、文化施設の利活用を図るための指定管理者制度を積極的に導入していますが、残念ながら総合型クラブが設立されていない地域は民間業者が参入しています。

スポーツ、文化施設は、地域住民の活動の場です。住民主体の総合型クラブが指定管理者になったことで、総合型クラブ設立への取り組みが一層加速しています。また、自転車で気軽に行ける体育館で、スタッフや仲間とともにスポーツを身近に楽しみ充実した時間を過ごしている大曲スポーツクラブの活動の輪が、さらに広がっています。

●大曲スポーツクラブ 秋田県大仙市花園町1-1(大曲体育館内) TEL0187-63-1122

【スポーツ少年団】

スポーツ少年団は、地域社会の中で子ども達にスポーツを通して健全育成を図ることを目的として活動している組織です。保護者が指導者を選任したり、会場の確保や練習試合・大会等の送迎にも分担して協力し合いながら活動していますが、保護者に時間的余裕のない人が増えてきているため、子どもが入団しづらかったり、特定の保護者に負担がかかるなどの問題を抱えています。

エスポルチ秋田は、スポーツ少年団「川添フットボールクラブ」を核として総合型クラブを設立しています。スポーツ教室参加のための送迎や大会・遠征等には専用のバスを運行し、指導者には経験豊富な元Jリーガーやプロ野球経験者を配置して、将来大きく成長する子ども達のために個人技術をメインにした一貫した指導を行っています。

地元スポーツ少年団関係者からは子どもを引き抜かれたとのクレームやいわれもないバッシング、確執が起りましたが、社会環境の変化を背景に地域や保護者からの要請に応じて総合型クラブを設立した英断は、これまでのスポーツ少年団の組織や活動に一石を投じる機会となり、地域で子ども達を支える在り方が見直され、新たな活動の展開につながりました。

●エスポルチ秋田HP <http://www.esporte-akita.jp/>

3. 全県レベルでの連携強化で、さらなるスポーツ振興への期待

今年8月、県内の先進的な活動を展開している総合型クラブの情報提供とクラブ相互ネットワーク推進の「秋田県総合型クラブ連絡会議」を、発展的に「秋田県総合型クラブ連絡協議会」に移行することになりました。総合型クラブの一層の定着・発展のために、クラブの円滑な運営に資する情報交換や交流を活発化し、クラブ間連携の仕組みを構築していきます。

このほか、地区のネットワーク化として県内三地区（県北・県央・県南）でスポーツクラブ交流会を開催しています。クラブのネットワーク化は、会員の地域への思いを共有することからはじまり、クラブの活動を通して地域のスポーツ振興や地域づくりにつながっています。

各地区のクラブが輪番制で主管し、交流会の案内から運営、プログラムは当該クラブで実際に展開している内容での交流です。クラブや地域の問題に気づかされたり、解決の糸口を見いだしたり、クラブが地域に根ざしていくための機会になっています。

本年度11月には、県内の総合型クラブのさらなる交流を深めるための8人制バレーボール全県交流会、2月には総合型クラブの社会的認知を高め情報を提供するクラブサミットを予定しています。

総合型クラブは、これまでの一律に与えるスポーツ行政から、地域住民が主体的に考えて作りあげるスポーツ活動への大きな方向転換となっています。

今後は、誰もが気軽にスポーツを行うことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して、住民の視点に立った地域の組織や団体との有機的な連携を図り、新たな地域スポーツ振興のシステムづくりを推進してまいります。

半田祐毅（秋田県クラブ育成アドバイザー）

●秋田県体育協会 HP 内「総合型クラブ」 http://www.akitaikyo.or.jp/index_sougou.html

関連リンク：半田祐毅氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/5.html>